

2025 年度第 2 回合同委員会議事録
(第 185 回実行委員会・2025 年度第 3 回広報委員会)

訪販化粧品工業協会

- 1 日 時 2025 年 11 月 20 日（木） 13：20～14：20
- 2 場 所 ポーラ美術館講堂（リアルと Zoom による Web 会議）
- 3 出席者
 実行委員会 10 名
 広報委員会 5 名（兼任委員を除く）
 事務局 2 名
- 4 議 題
 ○ 審議案件
 (1) 実行委員の交代について
 (2) 「関西活動報告会」開催結果について
 (3) 2025 年度上半期の事業報告及び中間決算状況について
 (4) 講習会等の開催案内通知状況について（2024－2025 年度）
 (5) （公社）日本訪問販売協会「JDSA 認定教育登録証」のデジタル化につ
 いて（訪販化粧品工業協会「化粧品訪問販売員教育登録制度の手続につ
 いて」）
 (6) 2026 年度第 53 回定時総会の開催予定について

 ○ その他
- 5 議事要旨
 定刻となり、実行委員長から挨拶が行われた。
 次いで、事務局から本日の合同委員会の開催に当たり、出席の確認を行った
 ところ、「訪販化粧品工業協会実行委員会規程」（以下「規程」という。）の定
 めによる実行委員の 3 分の 2（9 名）以上の出席が得られており、適法に成立
 している旨の報告がなされた。
 その後、規程に従い実行委員長が議長となって議事進行に当たった。
 事務局は議長の指示により、事前に配布した資料に基づき説明を行い、大要
 以下のとおりの審議・報告などがなされた。

○ 審議・報告案件

(1) 実行委員の交代について

事務局より、資料 1 に基づき説明し、2025 年 11 月 1 日付けで 1 名が交代・委嘱されている旨を報告した。

(2) 「関西活動報告会」開催結果について

事務局より資料 2 に基づき説明し、2025 年 9 月 12 日（金）に「TKP ガーデンシティ新大阪」にて開催され、当日は 15 名の会員及び委員が参加して活発な意見交換がなされたことを報告した。

また、出席した消費者相談研究会の幹事長から研究会への新規入会を呼びかけ、12 月開催の研究会に 1 社が試しに参加する予定であることを報告した。

委員長からは、この関西活動報告会は今後とも継続して開催して協会活動を広く知ってもらい、その活動に参加してもらえるよう頑張っていきたい。また、インターネットにおける通信販売の広告表示については、各社とも気を付けなければならない旨の指摘がなされた。

(3) 2025 年度上半期の事業報告及び中間決算状況について

事務局より、資料 3 に基づき説明し、教材の問題集をデータ化し、ホームページからダウンロードできるようにしたり、「訪粧協通信」をデジタル化したことによって、印刷費や通信費などの経費について削減ができていることを報告した。

ただ、教材そのものの印刷代は昨今の様々な物価上昇によって、今後値上がり傾向にある旨説明した。

(4) 講習会等の開催案内通知状況について（2024－2025 年度）

事務局より、資料 4 に基づき説明し、ダークパターンなど、様々な関係法令の講習会を会員に対して案内していることを説明した。

(5) （公社）日本訪問販売協会「JDSA 認定教育登録証」のデジタル化について（訪販化粧品工業協会「化粧品訪問販売員教育登録制度実施の手続について」）

事務局より、資料 5 の（公社）日本訪問販売協会（以下「訪販協」という。）が発行する販売登録証のデジタル化について説明し、販売登録証について各社がどのような方針にあるかについてその状況等を確認した。

委員長からは、訪販協での実施は 2025 年 10 月でまだ日も浅く、これまでの紙による販売員登録証に加え、電子化して発行するものについての、そのいずれもが選択できるようになったものであるところ、当協会としても広報委員会において検討することとして、各社でも持ち帰っておいてほしい旨説明した。

(6) 2026 年度第 53 回定時総会の開催予定について

事務局より、2026 年の定時総会について、6 月 10 日（水）にアルカディア市ヶ谷であることを報告した。

○ その他

2025 年度第 4 回広報委員会は 2026 年 1 月下旬開催予定とした。

以上をもって、合同委員会の閉会を議長が宣した後散会した。

○ 次回、2026 年度第 1 回合同委員会の開催について

例年どおりであれば、2026 年 5 月に開催予定。

以 上